

アドミッション・ポリシー

大学のアドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

高等学校あるいはこれに相当する教育機関等における学習や活動を通して、次の知識・技能、能力、態度を有する人を求める。

- (1) 知識・技能
 - ・ 大学入学後の専門を学ぶための基礎となる知識・技能を有する人
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ・ 課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・ 多様で広い知的関心をもち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人
 - ・ 身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、各学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルにまで資質・能力を高めることを期待する。

2. 入学者選抜の基本方針

各学部の特性に応じて、求めている資質・能力を適切に評価することができる選抜方法により実施する。

教育学部 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

教育学部では、卒業後に学校教員への就職を志望する、次の各要素を備えた人物を求める。

- (1) 知識・技能
 - ・ これまでの学びを通して大学入学後の専門的知識を学ぶための基礎となる知識・技能を有する人
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ・ 課題解決に主体的に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・ 多様で広い知的関心をもち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
 - ・ 身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、生涯にわたって「学び続ける教師」として必要な基盤を獲得することを期待する。

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般選抜（前期日程）では、知識・技能については大学入学共通テスト及び個別学力検査等により、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接により評価し、入学者を選抜する。
- (2) 一般選抜（後期日程）では、知識・技能については大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接により評価し、入学者を選抜する。
- (3) 学校推薦型選抜では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受

けた者のうち、知識・技能については大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

- (4) 学校推薦型選抜（地域【紀南】推薦枠）では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受けた者のうち、知識・技能については小論文により、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

経済学部 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

これまでの学びの機会を通して、次の知識・技能、能力、態度を身につけようとしてきた人を求める。

- (1) 知識・技能
 - ・社会の複合的な課題を発見・理解するための幅広い基礎的知識を有する人
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ・認識した課題を分析・解決するための思考力・判断力・表現力を有する人
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・解に至る道筋を粘り強く考え続ける能力を有する人
 - ・課題解決の実践にあたり、多様な人々と対話し、協働するためのコミュニケーション能力と意欲を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自らがさらに努力を重ね、多くの人と関わり合いながら、経済・社会の活動に関わる諸問題に一層の関心を持ち、これまでに身につけた能力を磨くとともに、複数の専門領域を包摂した教育課程を通して、次の知識・技能、能力を身につけることを期待する。

- (1) 経済学、経営学、会計学、情報学、法学などを中心とした専門知識
- (2) 専門知識を領域横断的に活用した理解力、思考力、表現力
- (3) 主体的に学び、考え、多様な人々と協働する能力

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。大学入学共通テストにおいては、高等学校等で学ぶ各教科の基本的な知識を評価する。なお、商業に関する知識・技能・思考力を備えた人材を選抜するために、商業関連科目の選択を認める。個別学力検査等においては、英文を含む総合問題と数学又は簿記の知識・技能・思考力を問う総合問題を課し、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を備えているかを評価する。
- (2) 一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。大学入学共通テストにおいては、外国語の理解力と特定分野の知識を、優れた成績を収めた科目に配慮し評価する。個別学力検査等においては総合問題を課し、論理的に考え、判断し、論述する力を評価する。特に、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を重視する。
- (3) 学校推薦型選抜では、高等学校等において身につける学力のうち、基本的な知識の修得状況と学ぶ意欲、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）、他者との議論や協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を、それぞれ出願書類、小論文、及び集団討論により評価し、入学者を選抜する。
- (4) 学校推薦型選抜（スポーツ）では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を小論文により評価する。

これに加えて、基本的な知識の修得状況、顕著な成績を収めたスポーツ活動において培われた主体性や多様な人々と協働する力、及びスポーツの実践、普及、振興についての関心を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜する。

- (5) 社会人選抜では、高等学校等の卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける姿勢などを出願書類及び面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6) 帰国子女選抜では、諸外国での学びと日本における学びのためになされた種々の活動を面接と出願書類により評価し、入学者を選抜する。
- (7) 私費外国人留学生選抜では、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたってなされた学びの成果を日本留学試験と出願書類により評価する。あわせて日本語の運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (8) 第3年次一般編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力をそれぞれ小論文と出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (9) 第3年次推薦編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力を出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。

システム工学部 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

システム工学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

- (1) 知識・技能
 - ・これまでの学びを通して大学入学後の複数の科学・技術領域を見通し、複合的に工学系分野の専門を学ぶための基礎となる学力・技能、特に理数系における確かな知識を有する人
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ・課題を解決するための思考力・判断力を有する人
 - ・意見や考えを他者や社会に分かりやすく伝えるための表現力を有する人
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・他者を尊重し、その意見を受け入れる柔軟性、協調性を有する人
 - ・何事にも好奇心・探求心を持ち、創造力を身につけようとする真摯な態度を有する人

【入学後の期待】

入学後には、自ら学び考える力を持ち、次の観点から、学術・産業研究を含む広範な工学系分野で活躍する自律的な技術者を目指すことを求める。

- (1) 自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- (2) メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、時代や社会が求める実践的な力を身につけること
- (3) 異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、課題を解決する能力へと高めること
- (4) 課題解決に向けて、他者と協働して取り組む能力や意見や考えを論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけること

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (2) 一般選抜（後期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テスト

により、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。

- (3) 学校推薦型選抜では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、目的意識や学修意欲などを面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4) 私費外国人留学生選抜では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価する。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (5) 第3年次推薦編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する基礎学力や専門に対する適性を面接と出願書類により評価する。あわせて、目的意識や学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6) 第3年次一般編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識などを学力検査により評価する。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。

観光学部 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

観光学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

- (1) 知識・技能
 - ・観光学部における専門分野の学修に必要な基礎学力を有する人
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ・主体的かつ積極的に課題に挑戦するための基礎的な思考力・判断力・表現力を有する人
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
 - ・新しいものごとへの好奇心・探究心、多様な文化・歴史・地理・言語や現代の社会情勢に対する幅広い関心を持ち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
 - ・身につけた知識や技能を活用し、主体的かつ創造的に課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、観光に関わる諸問題に一層の関心を持ち、観光学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルまで資質・能力を高めることを求める。

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 一般選抜（前期日程）では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を個別学力検査等により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (2) 総合型選抜では、入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を書類審査、指定された課題のプレゼンテーション、出願書類等に基づいた面接により多面的に評価し、入学者を選抜する。
- (3) 学校推薦型選抜では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を高等学校等で意欲的に取り組んだ活動実績、資格取得等により、さらに入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4) 社会人選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力を小論文により、また、高等学校等卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける意欲や態度を出願書類及び面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。

- (5) 私費外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力に加え、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたっての学ぶ意欲や態度、日本語運用能力を日本留学試験、出願書類、面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。